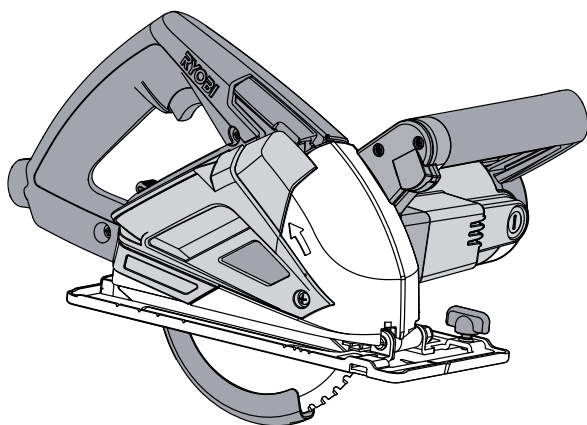


RYOBI

防じんスチールカッタ

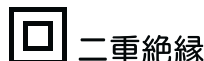
SC-520

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1～6
■各部の名称	7
■仕様・付属品・用途	8
■別販売品	9～10
■操作方法	11～16
■ご使用前の準備	17
■ご使用前の点検	18～20
■切断作業	21～24
■保守と点検	25～26



このたびは、リョービ 防じんスチールカッタをお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

警告

6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

警告

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 常識を働かせてください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

警告

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

防じんスチールカッタご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、防じんスチールカッタをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
2. ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ チップソーが露出していると、けがの原因になります。
3. チップソーは、銘板に表示してある範囲内のチップソーを使用してください。また、歯底径が 130mm 以下のチップソーは使用しないでください。
 - ・ ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
4. 使用時は必ずダストボックスを取付けてください。
 - ・ 取付けていないと、切断時切り粉が外部に飛散し、けがなどの原因になります。
5. 切断する材料は、必ず安定性のよい台に置いてください。
 - ・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断途中に、材料の重みでチップソーがはさみつけれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ チップソーがはさみつめられると、けがの原因になります。

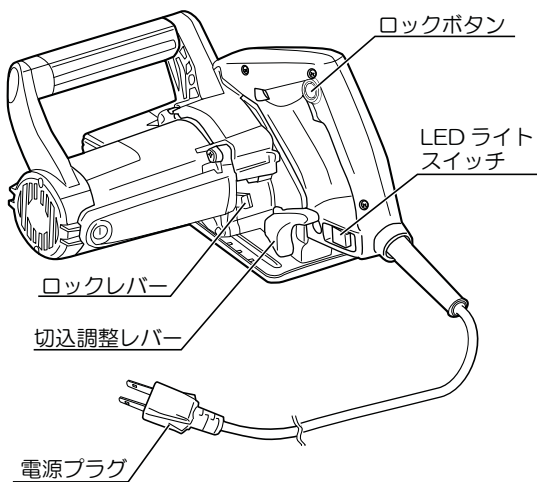
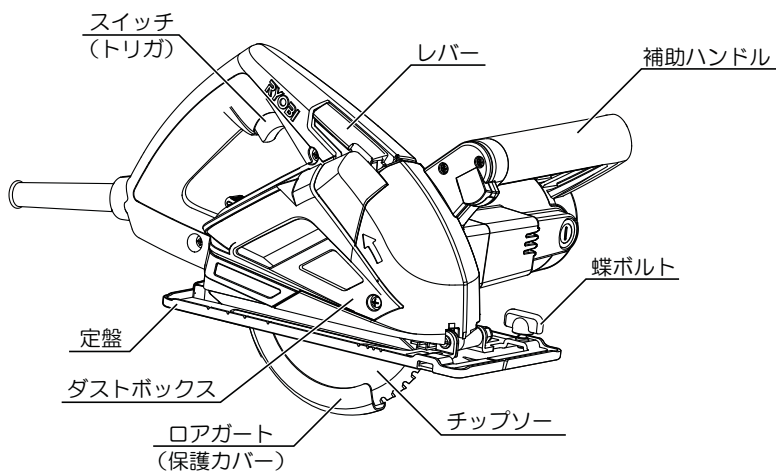
警告

7. 切断材料は確実に固定してください。
 - ・ 固定が不安定ですと切断材料が飛んだり、チップソーが破損する原因になります。
8. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がチップソーと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは少なくとも、チップソーの出しろの3倍以上にしてください。
 - ・ このような台がないと、けがの原因になります。
9. 金属を切断するときは引火しやすいもの、傷つきやすいものは、遠ざけてください。
 - ・ 切りくずは高温になり、または切断火花も発生します。
 - ・ 切りくずなどを直接手足などにあてると、けがの原因になります。
10. 切断油などをつけて切断しないでください。
 - ・ 切断油、研削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
11. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
12. 使用中は、チップソーや回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 切断途中で、チップソーを回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。
 - ・ 回転させたまま本体を戻したり、持上げると強い反発力が生じ、けがの原因になります。
14. 鋼材の連続切断はしないでください。
 - ・ 鋼材を連続して切断すると、切断火花、切りくずによりダストボックスが高温となり、変形したり、溶ける原因になります。
15. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
16. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（チップソーなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 刃物類（チップソーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 切断材料に適したチップソーを使用してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
3. チップソーにヒビや割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ チップソーが破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、皮製の手袋を着用してください。軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にチップソーを向けて空転させ、本体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるときけがの原因になります。
6. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - ・ 本体を落としたりし、けがの原因になります。
7. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上にのせたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し、感電のおそれがあります。
9. 回転するチップソーで電源コードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
10. 本体を万力などで保持してチップソーを上向きにした使い方はしないでください。
 - ・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
11. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
 - ・ 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
12. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 作業直後の刃物類（チップソー）、切りくず、ダストボックスは高温になっていますので直接手など触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
14. 切りくずは満杯になる前に早めに捨ててください。
 - ・ ダストボックス内に切りくずが満杯のままで使用すると、集じん力が低下します。また、ダストボックスが高温となり、変形、溶けの原因になります。

各部の名称

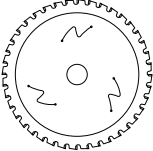
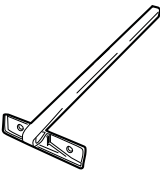
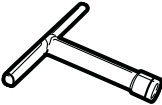


仕様・付属品・用途

●仕様

- ・電源…………… 単相・交流 100V 50/60 Hz
- ・定格電流…………… 12.5 A
- ・消費電力…………… 1,150 W
- ・無負荷回転数…………… 3,300 min⁻¹
- ・最大切込深さ…………… 52 mm
- ・チップソー寸法（外径×内径）…………… 147 mm × 20 mm
- ・機体寸法（長さ×幅×高さ）…………… 321 mm × 270 mm × 231 mm
- ・コード長さ…………… 5 m
- ・質量…………… 3.8 kg
- ・絶縁方式…………… 二重絶縁

●付属品

・レーザースリットチップソー …… 1 （鉄工・ステンレス用） 外径：147mm 内径：20mm 厚さ：1.2mm 刃数：40 枚 	・ソーガイドフェンス …… 1 
・ボックススパナ（10mm） …… 1 	・保護めがね …… 1 

●用途

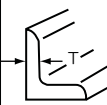
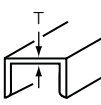
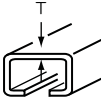
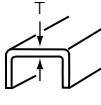
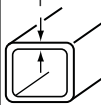
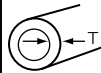
- ・一般軟鋼材、ステンレス、非鉄金属、金属系建材などの切断

別販売品

(別販売品は生産を打ち切場合がありますのでご了承ください。)

本機の性能を十分に発揮させ、効率よく作業をするためには、切断材料に適したチップソーをご使用ください。

各種切断材に対する適性一覧

切断材料	一般軟鋼材					
	アングル鋼	チャンネル鋼	リップ溝形鋼	軽溝形鋼	角パイプ	鋼管
						
チップソー	6mm 以下					
※鉄工・ステンレス用(付属品) 外径：147mm 内径：20mm 厚さ：1.2mm 刃数：40 枚	◎	◎	◎	◎	◎	◎
鉄工用 外径：147mm 内径：20mm 厚さ：1.2mm 刃数：40 枚	◎	◎	◎	◎	◎	◎
※アルミ用 外径：147mm 内径：20mm 厚さ：1.4mm 刃数：42 枚						
板金・薄鉄板用 外径：147mm 内径：20mm 厚さ：1.2mm 刃数：52 枚						

※レーザースリットチップソー

警告

・別販売品を使用の際も保護めがねを使用してください。

◎：最適 ○：良好 △：可能

		ステンレス		非鉄金属		金属系建材	
鋼板	鉄筋	パイプ	鋼板	アルミサッシ	真鍮管・真鍮棒	鋼製下地材（軽天・壁用）	ガルバリウム鋼板
							
	D19 以下	3mm 以下					
◎	◎	◎	◎	○	○	△	△
◎	◎	○	○	○	○	○	○
				◎	○		
						◎	◎

操作方法

●スイッチについて

⚠ 警告

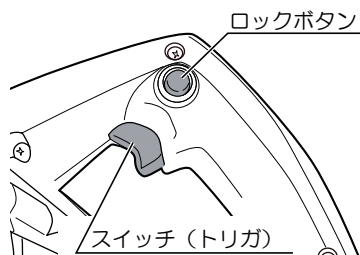
- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ・本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかりと保持してください。本機を落としたり、事故の原因になります。
- ・スイッチは引き金方式です。
トリガを引くと入り、放すと切れます。

連続運転する場合

- ・トリガをいっばいに引いた状態でロックボタンを押込みます。ロックボタンを押込んだまま、トリガから指を放すと、トリガが固定され連続運転になります。
- ・再度トリガを引くと固定が解除され、指を放すとスイッチが切れます。



ブレーキ付

- ・スイッチを切るとノコ刃がすばやく止まるブレーキ機構を備えています。

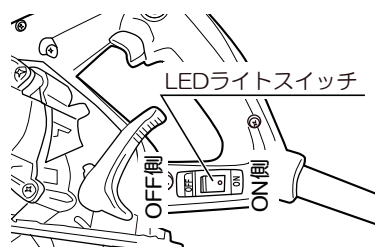
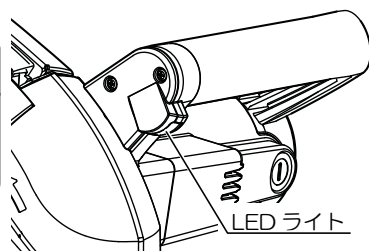
●LED ライトについて

⚠ 警告

- ・LED ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目にあたると、目を痛める原因になります。

- ・ケガキ線が見やすいLED ライトがついています。
- ・LED ライトスイッチの『ON』側を押すと点灯し、『OFF』側を押すと消えます。

- (注)・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさの低下の原因になります。
- ・ ライトレンズの清掃の際は、ガソリン、シンナーなどでふかないでください。レンズを傷めます。



●チップソーの取付け、取外しについて

⚠ 警告

- ・チップソーの取付け、取外しの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・チップソーは、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。
また、歯底径が 130mm 以下のチップソーは使用しないでください。ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
- ・チップソー取付け後は、ボックススパナを取外し、チップソーがスムーズに回転することを確認した後、スイッチを入れてください。ボックススパナが飛ぶなどしてけがの原因になります。

⚠ 注意

- ・チップソーの取付け、取外しは取扱説明書に従って確実に行ってください。
確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
- ・チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。チップソーが破損し、けがの原因になります。
- ・作業直後のチップソーやダストボックスは熱くなっていますので、素手で触らないでください。やけどの原因になります。
- ・チップソーの脱着は付属品のボックススパナ以外の工具を使用しないでください。
締め過ぎまたは、締付け不足となり、けがの原因になります。

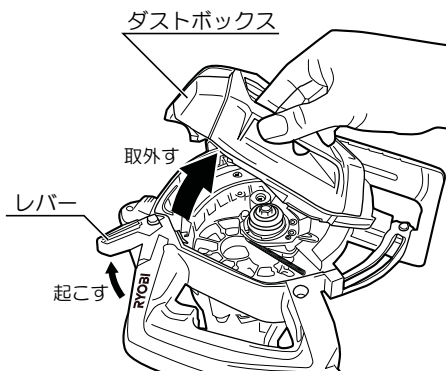
（取付け）

① 切込深さを最小にします。

- ・切込深さを最小にして、安定した台の上に本機を置きます。
(15 ページ『切込深さの調整について』参照)

② ダストボックスを取外します。

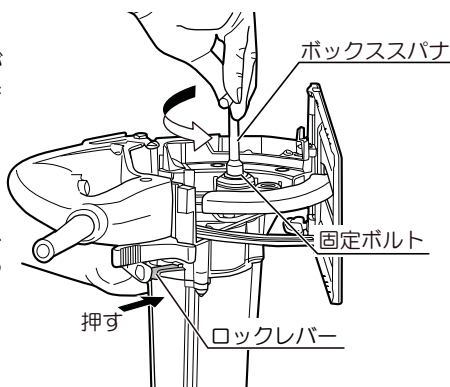
- ・レバーを起こしてダストボックスを取外します。(23～24 ページ『ダストボックスの脱着について』参照)



操作方法

③ ギヤシャフトを固定します。

- ・ロックレバーを押えた状態でボックススパナで固定ボルトを反時計方向に回します。

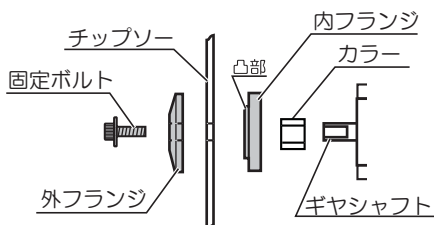


④ 固定ボルト、外フランジを外します。

- ・ギヤシャフトを固定した状態で、ボックススパナを反時計方向に回し固定ボルトをゆるめ、固定ボルト、外フランジを取外します。

⑤ 内フランジの向きを確認します。

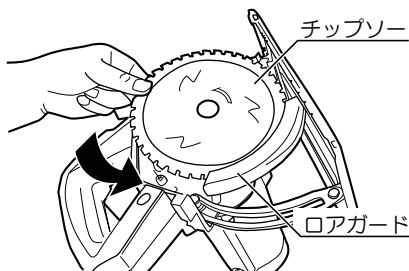
- ・内フランジの凸側がチップソー側になるように取付いているか確認してください。



⑥ チップソーを取付けます。

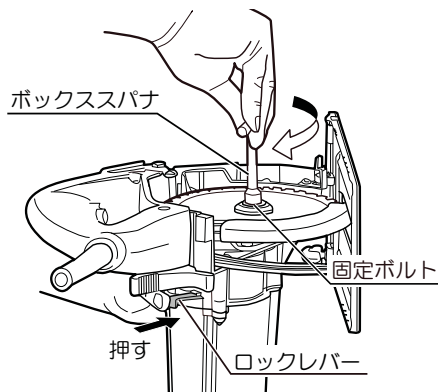
- ・チップソー、外フランジ、固定ボルトの順に取付けます。

(注) チップソーの矢印とギヤケースの矢印方向が一致するように取付けてください。



⑦ 固定ボルトを締付けます。

- ・ロックレバーを押さえた状態でボックススパナで固定ボルトを時計方向に十分に締付けます。



⑧ ダストボックスを取付けます。

(23～24 ページ『ダストボックスの脱着について』参照)

(取外し)

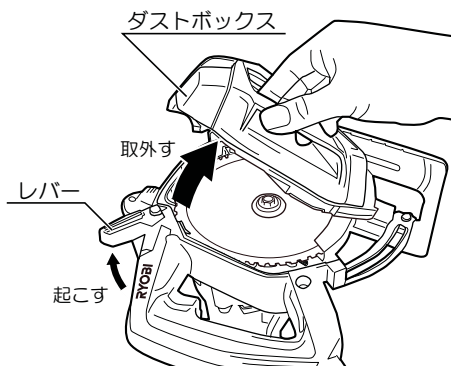
① 切込深さを最小にします。

- ・切込深さを最小にして、安定した台の上に本機を置きます。

(15 ページ『切込深さの調整について』参照)

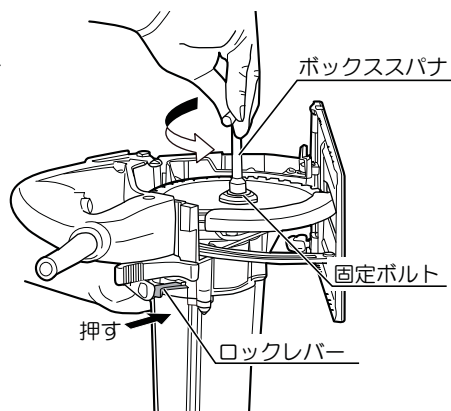
② ダストボックスを取外します。

- ・レバーを起こしてダストボックスを取外します。(23～24 ページ『ダストボックスの脱着について』参照)



③ ギヤシャフトを固定します。

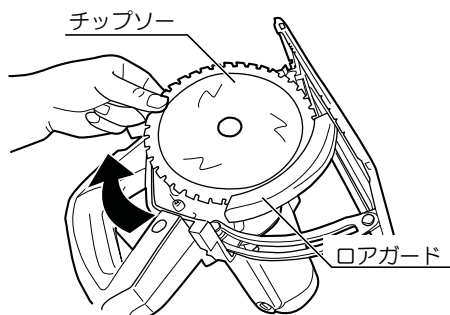
- ・ロックレバーを押えた状態でギヤシャフトが固定されるまでゆっくりとボックスパナで固定ボルトを反時計方向に回します。



④ 固定ボルト、外フランジを外します。

- ・ギヤシャフトを固定した状態で、ボックスパナを反時計方向に回し固定ボルトをゆるめ、固定ボルト、外フランジを取外します。

⑤ チップソーを取外します。



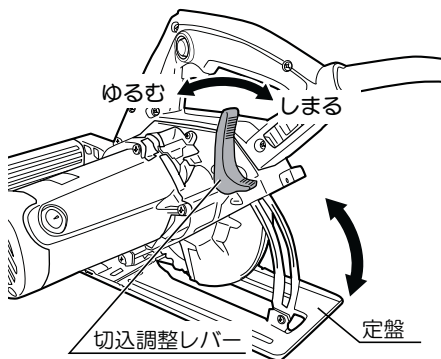
操作方法

●切込深さの調整について

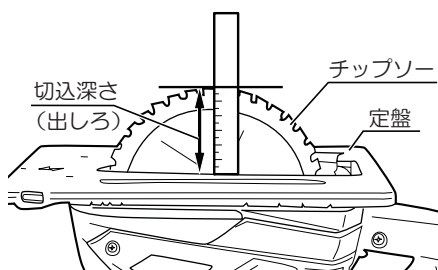
⚠ 警告

- ・切込調整レバーがゆるんでいると、けがの原因になります。調整後は十分に締付けてください。

- ・切込調整レバーをゆるめて、定盤を上下させて調整します。
- ・お望みの切込深さを決め、切込調整レバーをしっかりと締付けて固定してください。

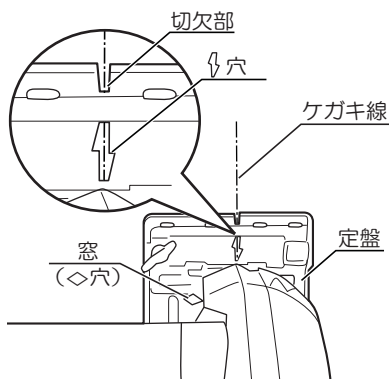


- ・切込深さ（出しろ）は、定盤面から出ているチップソーの寸法を測って決めてください。



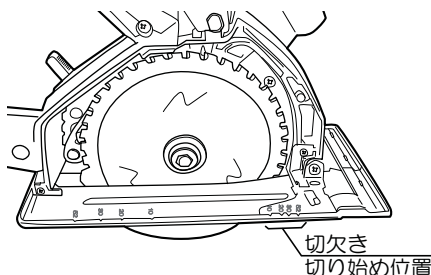
●切断位置について

- ・切断する材料の上に本体（定盤）をのせ、ケガキ線が定盤先端の切欠部と⚡穴の中心を通るように合わせてください。
- ・定盤についている窓（◇穴）は、最大切込深さでのチップソーの刃先および材料の位置が確認できます。



●刃先の位置について

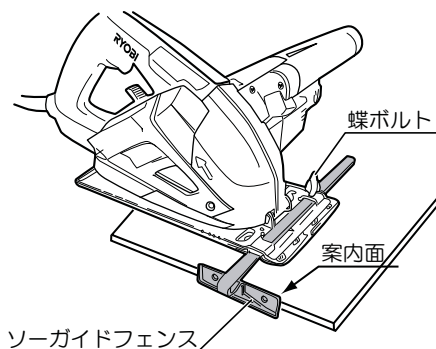
- ・定盤の両側についている切欠きはチップソーの刃の位置を示します。
切り始めの刃先位置が確認でき、材料を途中で切断するときに便利です。
- ・切欠き部横の数字は切込深さを表しています。
切込深さを最大（52mm）に設定した場合は、数字 52 の切欠きが刃先の位置になります。



※イラストは説明のためダストボックスを取外した状態です。

●ソーガイドフェンスについて

- ・正確な直線側面を持つ材料では、ケガキ線を引く必要がなく、同寸法の加工が連続してできます
- ・切断幅寸法は、チップソーとソーガイドフェンスの案内面までの寸法によって決められます。
- ・ソーガイドフェンスは定盤の左右どちらにでも取付けられます。
- ・取付けは、寸法を合わせた後、蝶ボルトでソーガイドフェンスを固定します。



ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ	最大の長さ
2.0 mm ²	20 m

●作業台（木製）を用意します。

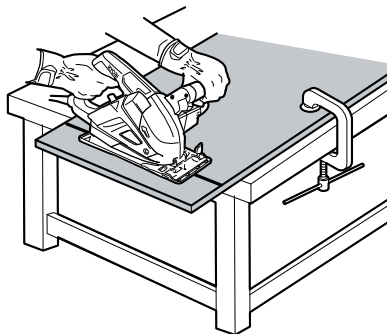
- ・チップソーが材料の下面より出ますので、材料は作業台の上に置いて切断してください。

作業台の高さ

- ・チップソーおよびロアガードが地面に接触しないように、十分な高さ（チップソーの出しろの3倍以上）にしてください。

材料の固定

- ・切断する材料（切り残し側）をバイスなどで固定し、両手で作業してください。



●チップソーを取付けます。

- ・12～13 ページ『チップソーの取付け、取外しについて』参照

ご使用前の点検

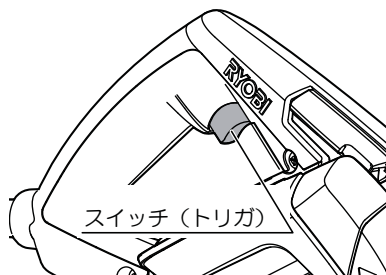
⚠ 警告

・ご使用前に次のことを確認してください。

①～⑥項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

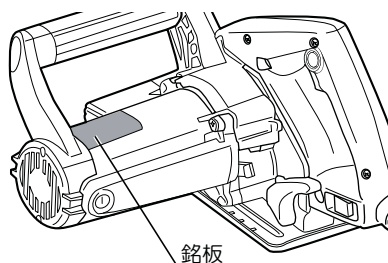
① スイッチが切れていることを確かめます。

- ・トリガがスムーズに動くことを確認してください。
- ・スイッチが入っていることを知らずに、電源プラグを電源コンセントにさし込むと、不意に始動し、思わぬけがの原因になります。



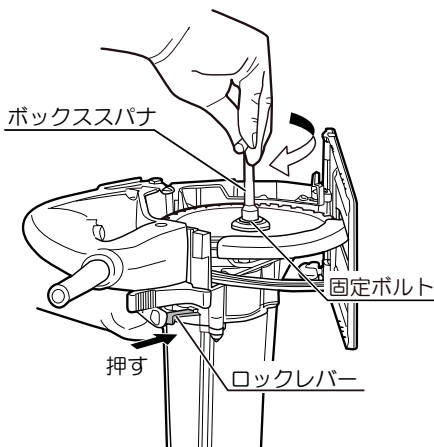
② 電源を確かめます。

- ・必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速となり、機体が破損するおそれがあります。



③ チップソーの締付けを確かめます。

- ・ダストボックスを取外し、ロックレバーを押込みながら、付属品のボックススパナで固定ボルトを時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けてください。



⚠ 警告

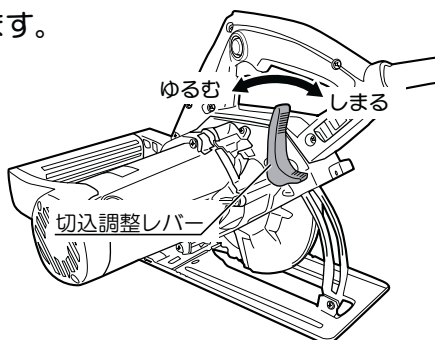
- ・ロックレバーが元の位置に戻り、チップソーが円滑に回転することを確認してください。

ご使用前の点検

④ 切込調整レバーの締付け具合を確認めます。

⚠ 警告

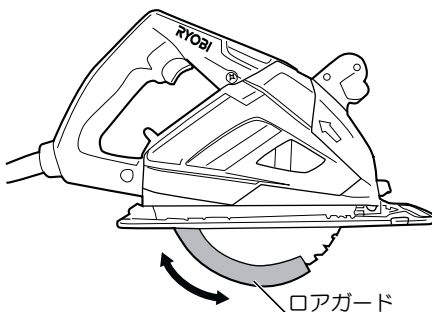
- ・切込調整レバーが十分締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがの原因になります。



⑤ ロアガード（保護カバー）の動きを確認めます。

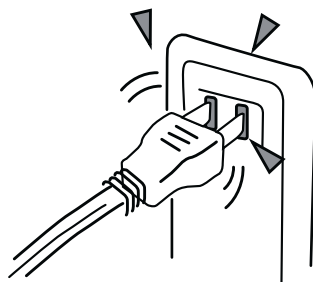
⚠ 警告

- ・ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。チップソーが露出していると、けがの原因になります。
- ・ロアガードは、身体がチップソーに触れるのを防ぐものです。必ずチップソーを覆うように円滑に動くことを確認してください。
- ・万一、ロアガードが円滑に動かない場合は、決してそのまま使用しないでください。この場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。



⑥ 電源コンセントを確認めます。

- ・電源コンセントがたがついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

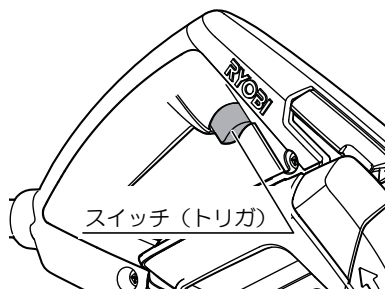


⑦ ブレーキがかかることを確かめます。

△ 注意

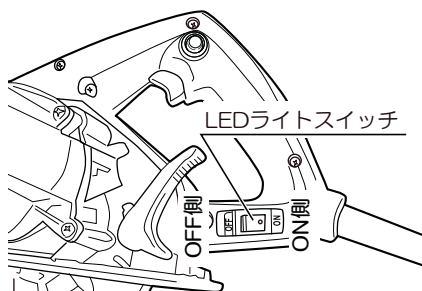
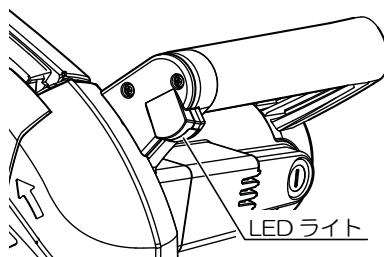
- ・ブレーキがかかるときの反発力に注意してください。機体を落としたりし、けがの原因になります。

- ・本機はスイッチを切ると同時にチップソーの回転にブレーキがかかる構造です。
ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。
- ・万一正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。



⑧ LED ライトの点灯を確かめます。

- ・LED ライトスイッチの『ON』側を押すと点灯し、『OFF』側を押すと消えます。



切断作業

⚠ 警告

- ・電源コンセントにつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。（防じんマスクは市販品を利用してください。）
- ・使用前にロアガード（保護カバー）やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか所定の機能を発揮するか確認してください。
異常があるとけがの原因になります。
- ・ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。けがの原因になります。
- ・使用中は、チップソーや回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。
まっすぐ静かに進めてください。モーターに無理がかかるとともに、反発力を受け、けがの原因になります。
- ・チップソーを上向き、横向きにした使い方はしないでください。けがの原因になります。
- ・切断途中で、チップソーを回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が止まってから本体を持上げるようにしてください。回転させたまま本体を戻したり、持上げると強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ・作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

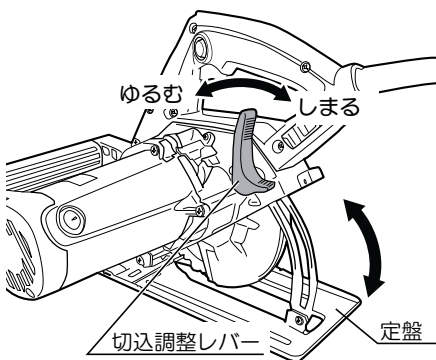
⚠ 注意

- ・回転するチップソーで、コードを切断しないよう注意してください。
- ・チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。チップソーが破損し、けがの原因になります。
- ・使用中は、皮製の手袋を着用してください。軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
- ・作業中や作業直後の本機金属部やダストボックス、切りくずは高温になっています。やけどのおそれがありますので、十分注意してください。
- ・本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。本機を落としたり、事故の原因になります。

●基本的な切断手順

① 切込深さを調整します。

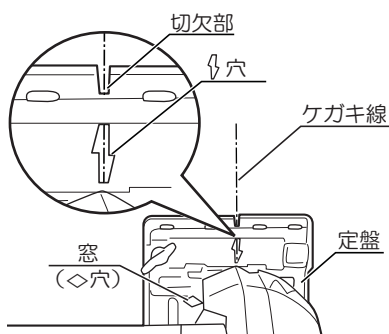
- ・切断する材料の厚みに合わせて、切込深さを調整します。(15 ページ『切込深さの調整について』参照)



② 電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

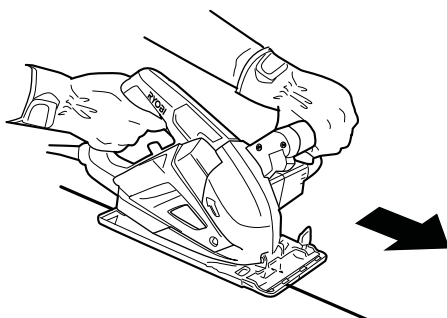
③ ケガキ線に合わせます。

- ・切断材料の上に本体（定盤面）をのせ、ケガキ線が定盤先端の切欠部と⚡穴の中心を通るように合わせてください。



④ スイッチを入れ、ゆっくり進めます。

- ・チップソーが切断材料に触れていないことを確認してスイッチを入れます。
- ・チップソーの回転が上がり、安定したら定盤面を切断材料に密着させ、静かに本体を前方に押し進めて、切断を行います。
- ・切断終了後、チップソーを切断材料から外してスイッチを切ります。



(作業のコツ)

- ・ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。特に切り始め、切り終りはゆっくり進めてください。

(注) 本体を逆さまにしないでください。
ダストボックスに溜まった切りくずがこぼれます。

切断作業

●ダストボックスの脱着について（切りくずの捨て方）

⚠ 警告

- ・ダストボックスの脱着の際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

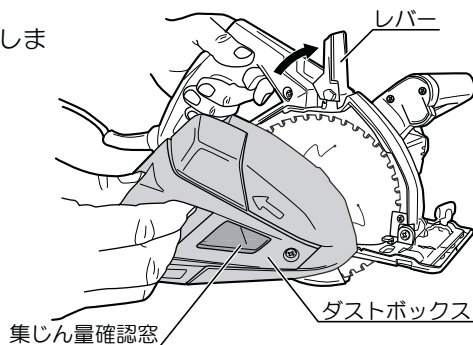
⚠ 注意

- ・切断直後の切りくずは高温になるため、ダストボックスが高温になる場合があります。切りくずやダストボックスには直接手など触れないでください。必ず保護具（手袋）を着用してください。

- （注）・ダストボックス内に切りくずが溜まりすぎると、集じん力が低下します。集じん量確認窓から時々確認し、満杯になる前に早めに切りくずを捨ててください。
- ・湿った材料を切断した後は、直ちに切りくずを捨ててください。そのままにしておくとサビや故障の原因になります。

① ダストボックスを取外します。

- ・レバーを起こし、ダストボックスを取外します。

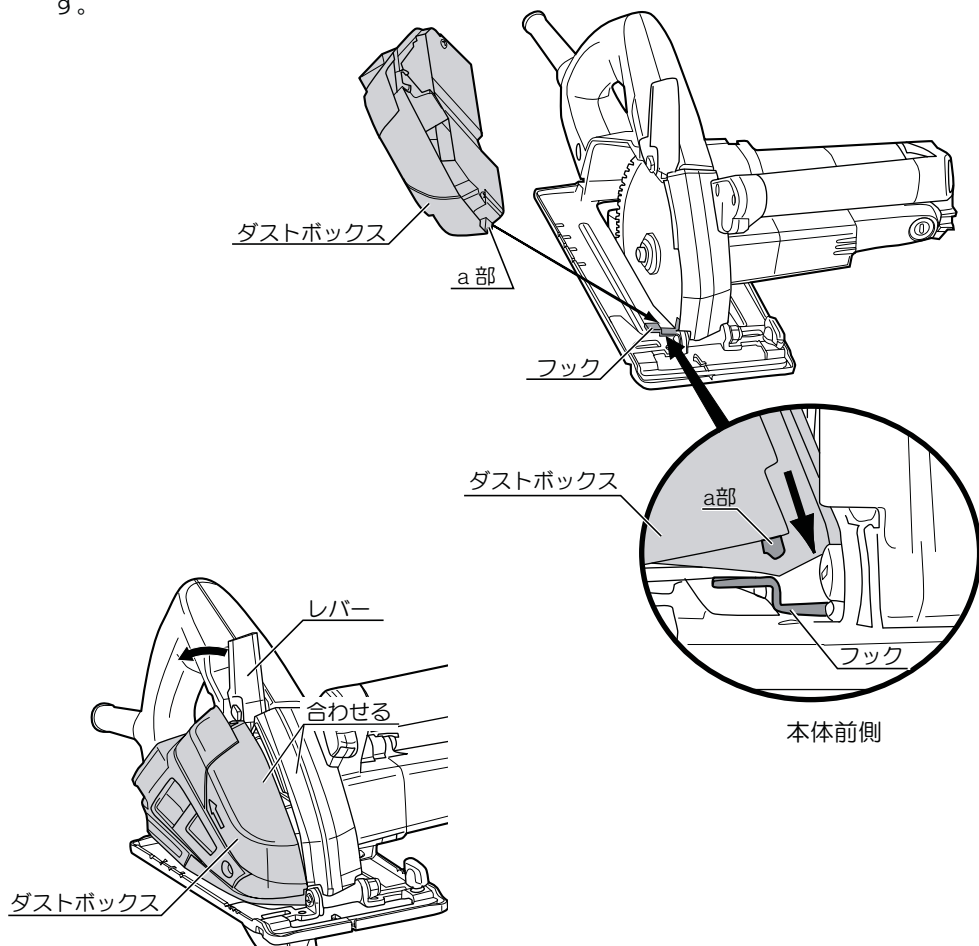


② 切りくずを捨てます。

- ・ダストボックス内に溜まった切りくずを捨ててください。

③ ダストボックスを取付けます。

- ・ レバーを起こした状態で取付けます。
本体前側のフックにダストボックスの a 部を
さし込み、ダストボックスを本体に合わせま
す。
- ・ レバーを戻して、ダストボックスを固定しま
す。



保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

- ・切断直後の切りくずは高温になるため、ダストボックスが高温になる場合があります。切りくずやダストボックスには直接手など触れないでください。必ず保護具（手袋）を着用してください。やけどの原因になります。

●チップソーの点検

- ・切れ味が悪くなったチップソーをそのまま使用すると、モーターに無理がかかりモーター焼けの原因となります。早めに新品と交換してください。
(交換方法は、12～14 ページ『チップソーの取付け、取外しについて』を参照してください。)

⚠ 警告

- ・切れ味の悪くなったチップソーはそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

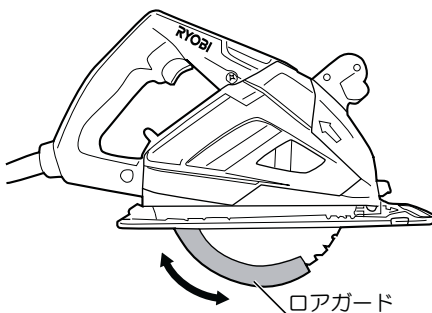
●使用後の手入れ

- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。
- ・ダストボックス内に付着している切りくずを乾いた布などできれいにふきとってください。

●ロアガード（保護カバー）の動作点検と保守

- ・ロアガードは、いつも円滑に作動するようにしてください。

なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。



●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。

お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。

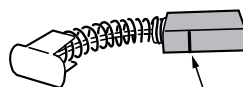
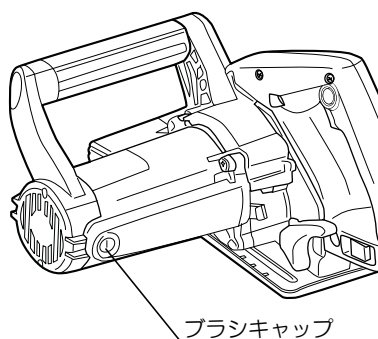
●カーボンブラシの点検

- ・本機はモーター部に消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。

- ・ブラシキャップを⊖ドライバで取外し、カーボンブラシを取出してください。

- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも同時に交換してください。

この時、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くことを確認してください。



この線まで使用できます。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141

<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>